



考える会通信 26号

ぐるりんあきうのご予約は、(有)秋保交通(ぐるりんあきうセンター)まで

予約の電話:022-393-5912 ※はじめに「ぐるりん号の予約です」とお伝えください。

★☆☆ご回答いただく前に☆☆★

ぐるりんあきうの運行内容を見開きに掲載しておりますので、アンケートにご回答いただく際にお目通しください。

↑アンケート調査票別紙をご確認ください。

「秋保地区の交通を考える会」では、多くの皆様にご利用いただける「ぐるりんあきう」を目指しております。そのためには、秋保地区にお住いの方々の意見にしっかりと耳を傾け、取り入れながら、より良い運行計画へと見直ししていく必要があります。

そこで、秋保地区にお住いの皆さまの交通手段の利用状況を調査するアンケート調査を実施することといたしました。秋保地区の実情にあった持続可能な移動手段を確保するため、一人でも多くの方にご回答をいただきたいと思います。

考える会通信と併せて全戸配布させていただきますので、アンケート調査にご協力ください。よろしくお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします。



秋保地区の交通を考える会
事務局長 佐藤 祐二

「ゆづじくん、2回乗ったよ！」

町内会の役員の方から突然告げられ、「一瞬「何のこと?」と思いましたが、すぐに「ぐるりんあきう」だと理解しました。

2017年に有志で「秋保地区の交通を考える会」を立ち上げて以来、仙台市や地域の皆さまの協力を得て「ぐるりんあきう」となり、徐々に秋保の皆さまの移動手段として認知されてきたことを嬉しく思います。

3月31日で2回目の試験運行を無事に終了し、コロナ禍や地震の影響があったにもかかわらず、利用者の目標数を達成し、特に住民の利用が伸びているという結果が出ました。

今回の試験運行では、買い物や通院等で高齢者の利用が増え、通学では小学生の利用が定着し、観光シーズンには多くの来訪者の利用が確認できました。また、区内を運行する路線バスの利用促進に寄与した傾向が見られて、秋保地区の公共交通の共存共栄に期待をもっています。

今後は愛子駅への接続や土日の運行など、さらに利便性を高め、より多くの皆さまの足としてご利用いただけるよう、改善を重ねてまいります。

皆さまにおかれましては、引き続きのご利用と同時に、「ぐるりんあきう」の利便性と経済的優位性を近隣の皆さまにアピールしていただき、まだ使ったことがない方の中を押していただけますよう、さらなる応援をよろしくお願いいたします。

★☆☆「考える会通信」は、町内会の協力をいただき、秋保町内にお住まいの皆様へ配布させていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



ぐるりんあきう利用者インタビュー

「共同浴場へ行くのに
利用しています」

馬場在住
太田あいこさん(右)、
太田とめさん(左)



お茶っこ中のお二人



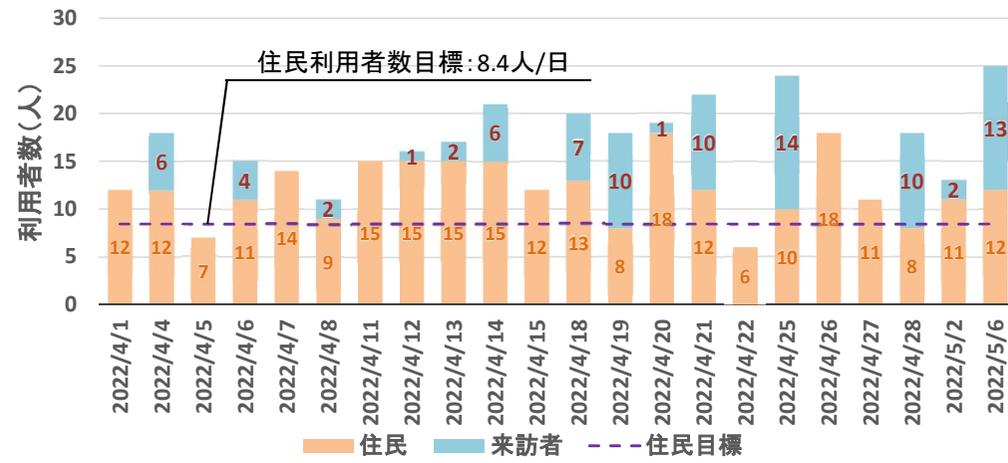
ぐるりんあきうを最近頻繁にご利用いただいている太田あいこさん、太田とめさんをお訪ねしました。お二人の年齢はともに89歳。馬場にお住まいのお隣同志で、小学校時代からの交友は優に80年を超え、今でも大の仲良しです。

お二人がぐるりん号で向かう先は、いつも秋保共同浴場です。なんでも乾燥肌にはとびつきり効くとのこと、市バスを使つて前から通っていたそうです。ところが湯元小学校前のバス停からは歩いて行かなければなりません。「あの坂がキツイのよねエ。」とあいこさんが言うのは、湯の橋から南へ上る坂です。「歩けないし。」と諦めかけていたところ、秋保診療所の職員さんからぐるりんあきうを使つて通院している人がいるとの話を聞きつけました。「考える会」の広報誌で知っていました。それが、それではなんとなく「遠いもの」と感じていたそうです。しかし職員さんの言葉に背中を押され、思い切って予約の電話をしました。

ぐるりんあきうを使ったお二人の感想は「便利だねー」と、家の前から共同浴場まで、ドアツードアのサービスがお気に入りのご様子です。とめさんがおっしゃるには「バス運賃が500円。ぐるりんあきうは片道100円。入浴料が300円。ぐるりんあきうを使えばバス片道運賃で往復でき、お風呂代も付いてくる。」。「なるほどねエ」と、妙に説得力がありました。今後とも、たくさんご利用いただきますように。インタビュー：(有)秋保交通 青野氏

利用者数(住民・来訪者別)の推移

・4月の平均利用者数は1日あたり16.0人と、目標の平均利用者数1日あたり8.4人を達成しておりますので、良好な滑り出しです。



発行：秋保地区の交通を考える会 会長 及川 純一 電話 022-399-2133
 支援機関：仙台市 都市整備局 地域交通推進課 電話 022-214-8495

◆◇「ぐるりんあきう」の運行内容をご確認いただき、別紙アンケートへの回答にご協力をお願いします◇◆

■秋保地区地域交通「ぐるりんあきう」1 運行の概要

試験運行Ⅱ 運行計画の概要

凡例

- 乗換バス停
- 小学区境界
- 運行範囲(秋保町内)
- ★ 乗降ポイント(秋保町外)
- 市営バス
- 宮城交通
- タケヤ交通

利用対象	秋保町内全域
運行日	平日(土日祝日、12/31~1/3、3/6を除く) ※試験運行期間 2022/4/1~2023/3/31(木)(244日間)
運行時間	6時~18時で予約に応じて運行
予約	乗車の1時間前までに電話で予約(電話窓口は6時~17時) 予約専用ダイヤルを設置、専属オペレータを配置して対応。

ポイント①

予約は1時間前までに
連絡すればOK!

ポイント②

秋保町内であればどこでも
乗降可能です!

令和4年4月からの変更点

- ・予約専用ダイヤル(☎ 022-393-5912)を設置
- ・運行開始時刻を午前7時⇒午前6時に拡大

2 運賃

運賃	小学区内	隣接する小学区間	馬場小学区 ⇔湯元小学区
一般	200円	400円	600円
学生割引 (中高・大学・短大・専門学生)	100円	200円	300円
小学生以下		100円	
70歳以上・障害者		100円	

※回数券(100円券11枚綴り1000円)を用意
※秋保ヴィレッジ・仙台万華鏡美術館は湯元小学校区扱いとする。

3 ご利用方法

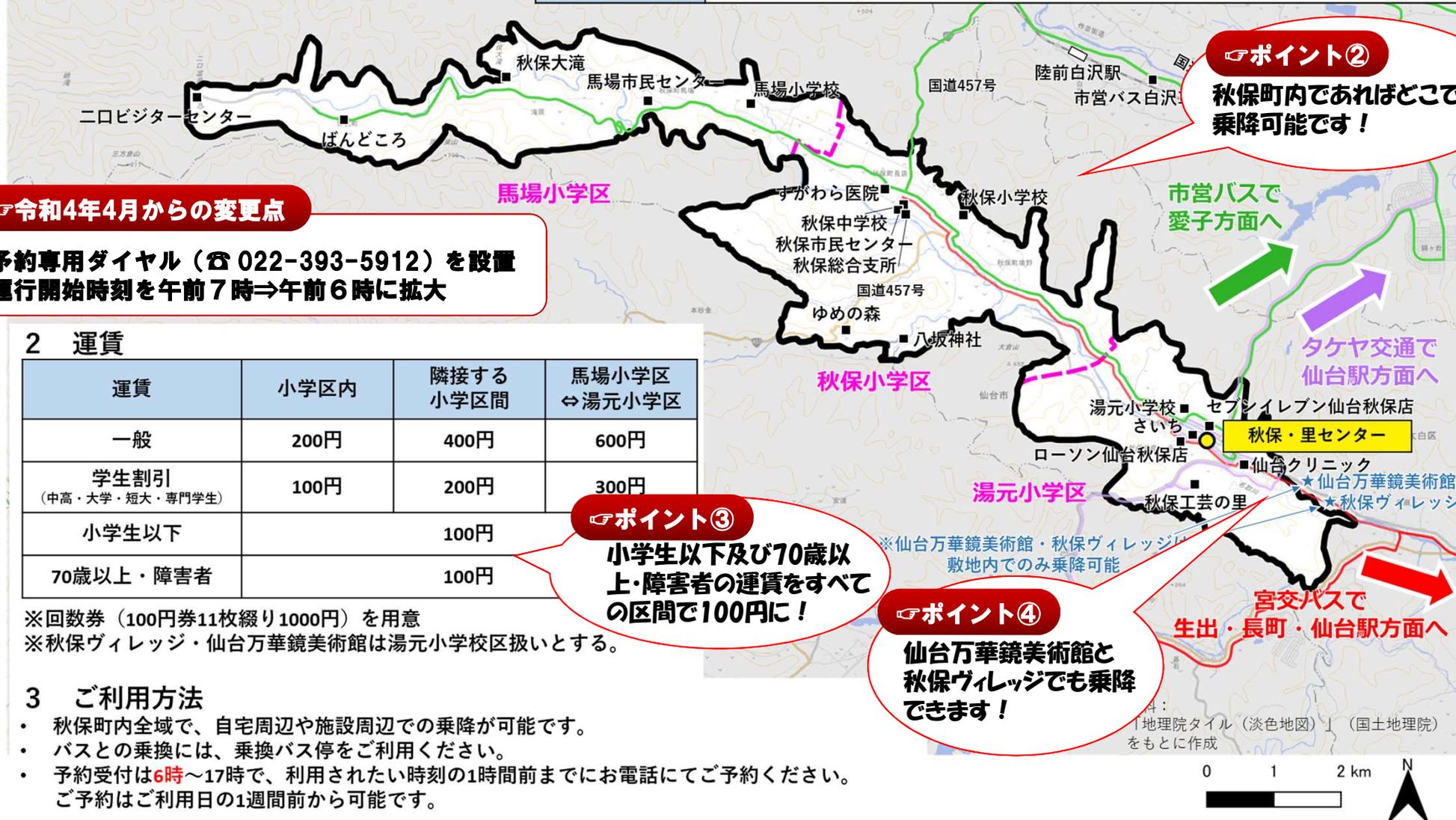
- ・秋保町内全域で、自宅周辺や施設周辺での乗降が可能です。
- ・バスとの乗換には、乗換バス停をご利用ください。
- ・予約受付は6時~17時で、利用されたい時刻の1時間前までにお電話にてご予約ください。ご予約はご利用日の1週間前から可能です。

ポイント③

小学生以下及び70歳以上・障害者の運賃をすべての区間で100円に!

ポイント④

仙台万華鏡美術館と秋保ヴィレッジでも乗降できます!



市営バスで
愛子方面へ

タケヤ交通で
仙台駅方面へ

宮交バスで
生田・長町・仙台駅方面へ

※仙台万華鏡美術館・秋保ヴィレッジ
敷地内でのみ乗降可能

資料:「地理院タイル(淡色地図)」(国土地理院)
をもとに作成